

こんなユニバーサルデザインを知っていますか？



1 ユニバーサルデザインフード

人は年齢とともに「かむ力」や「飲み込む力」が弱まってきます。また歯の治療などで食事が不自由なこともあります。そこで、食事をとることが困難な方にも食べやすいよう工夫されている介護食品に、日本介護食品協議会が自主規格である「ユニバーサルデザインフード」という名称と共通のロゴマークを作成しました。

そして、それらを「容易にかめる」「歯ぐきでつぶせる」「舌でつぶせる」「かまなくてよい」の4つに区分してあるため、適切に選ぶことができます。

共通のロゴマーク



表示例



2 Webアクセシビリティ

Webサイトのアクセシビリティ(アクセスしやすさ)。「音声化対応」「操作性」「可読性」などを整備し、「高齢者や障がい者など、心身の機能に制約のある人でも問題なく利用できること」に配慮します。

また、2004年6月20日に、JISX8341-3:2004「高齢者・障害者等配慮設計指針 - 情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス - 第3部：ウェブコンテンツ」が制定されました。ウェブコンテンツJISは、主に高齢者や障害者及び一時的な障がいのある人が、ウェブコンテンツを利用する際のアクセシビリティを確保し、それを向上させるために、ウェブコンテンツの企画、設計、開発、制作、保守及び運用にわたってウェブコンテンツの提供者及び制作者が配慮しなければならない事項について規定するものです。

IBM「らくらくウェブ散策」



ウェブコンテンツの読みたいところにマウスポインタを動かすだけで、文字が別枠(文字拡大まど)に拡大され、合成音声で読み上げます。

3 PPP

(Product Performance Program)

PPPはデザインにおける意識や認識を評価するプログラムです。

「5つの特徴」

1. デザインの意識評価(デザインアシュアランス)を確立し、デザインにおける創造的解決を促す仕組みです。
2. 開発者自身の「気づき」を促すための、生きた評価システムです。
3. デザインや商品企画のプロが、立場や専門を越えて使えるツールです。
4. 企業の資産を活かして、総合的なブランド力を向上させることが目的です。
5. 評価対象の商品デザインを改善するだけでなくさまざまな効果が期待できます。

「PPPで使われるチェックリストの一部」➡

1 平等な使用

どのような人でも、体格や身体能力の違いに関わらず、できるだけ同じように使えるよう、考えてありますか？

2 差別感の排除

どのような人がどのような使い方をしても、使う際に差別感や不公平さを感じないよう配慮されていますか？



北欧で 見つけた UD

「手すり」「蓋、便座」に赤を使い目立たせ確認しやすい
道路脇に優先駐車スペースが確保されている
ある学校のイスは掃除しやすいように座面が机下に収納されイスの足が床から浮く
照明のスイッチは大きくてシンプルなデザイン
リモコンパネル「テレビチャンネル」「照明スイッチ」「電話短縮番号」など複数設定できる
トイレ洗浄ボタン、外側と内側に分かれた押しボタン。片方だけ押すと少量、両方一緒に押すと水量が多くなる
ある学校の音楽室。レイアウトは自由自在
歩行器。しっかりした安定感と操作性に優れ、ハンドルの高さ調節も可能

JR会津若松駅

当センター…ユニバーサルデザイン調査結果より抜粋



JR会津若松駅は会津の玄関口として、すべてのひとが利用しやすいデザインが配慮されています。優先駐車場の出入口までの最短距離を設定し、確保してあります。平坦な道路に近いです。点字ブロックは途中で切れることなく連続してあります。車いすの点字ブロックを使用する方の改札口は88センチと十分な幅を確保してあります。ピクトグラム（絵文字）と観光案内パンフレットは、国際的観光地・会津にあわせて日本語・英語・韓国語・中国語の表記がされています。2、3番ホームから改札口までは、階段かエレベーターもしくは連絡通路の3通りが併設されていて、人的補助がなくても往来が可能になっています。トイレは駅構内と改札の外の2ヶ所に設置されており、改札の外には多目的トイレが併設されています。JRでは人的補助を必要とする方が電車を利用する場合に、事前に書類を提出すれば乗車駅から乗換駅、降車駅それぞれで連携し、補助するシステムがあります。